

Ⅱ 履修等に関すること

1. 岡山大学環境理工学部履修細則

(趣 旨)

第1条 この細則は、岡山大学環境理工学部規程（平成16年岡大環第1号）第9条及び第20条の規定に基づき、岡山大学環境理工学部における授業科目及び単位数並びに卒業の要件に関し、必要な事項を定めるものとする。

(教養教育科目及び専門教育科目)

第2条 教養教育科目及び専門教育科目の授業科目、単位数及び履修方法は、別表に定める学科カリキュラムのとおりとする。ただし、教養教育科目は、学年の始めに岡山大学教育開発センター長が公示する授業科目とする。

(卒業論文履修資格)

第3条 卒業論文（環境数理学科においては情報課題研究を含む。）を履修できる者は、3年以上在学し、次の表に定める要件を満たした者とする。

学 科	要 件
環 境 数 理 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 教養教育科目 24単位以上 (外国語科目10単位以上含む) 3. 必修の専門教育科目 29単位以上
環 境 デ ザ イ ン 工 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 必修の教養教育科目 教養教育科目の英語 (プレ上級英語及び上級英語を除く) 必修の専門教育科目 } 39単位以上
環 境 管 理 工 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 必修の教養教育科目 必修の専門教育科目 } 56単位以上
環 境 物 質 工 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 102単位以上 2. 教養教育科目の外国語科目 8単位以上 3. 必修の専門教育科目 (必修実験を含む) 37単位以上

(専門基礎科目)

第4条 専門基礎科目は学部共通の授業科目とする。学部が開講する専門基礎科目は、第2条別表に定める学科カリキュラムにかかわらず、履修することができる。

2 学科の定める卒業要件単位数以上修得した専門基礎科目単位の取扱いは、次のとおりとする。

環境数理学科 : 卒業要件単位 [自由科目]

環境デザイン工学科 : 卒業要件外

環境管理工学科 : 卒業要件単位 [選択科目]

環境物質工学科 : 卒業要件外

(他学科及び他学部履修)

第5条 他学科及び他学部履修により修得した単位は、各学科の定めるところにより選択科目又は自由科目とすることができる。

附 則

1 この細則は、平成16年4月1日より施行する。ただし、平成15年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書きの規定にかかわらず、第3条の表のうち環境デザイン工学科の欄の規定にあつては、平成15年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この細則は、平成17年4月1日より施行する。ただし、平成16年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 2 前項ただし書きの規定にかかわらず、環境数理学科の平成15年度及び平成16年度入学者にあつては、第3条の表の要件の欄中1. 卒業要件として認められる単位及び4. 必修の専門教育科目の単位数をそれぞれ98単位以上及び24単位以上とする。

附 則

この細則は、平成18年4月1日より施行する。ただし、平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成19年4月1日より施行する。ただし、平成18年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 ただし、第3条の表のうち環境デザイン工学科の欄の規定にあつては平成19年度以前入学者については、なお、従前の例による。
- 3 改正後の別表の規定にかかわらず、平成19年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成21年4月1日より施行する。ただし、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成22年4月1日より施行する。ただし、平成21年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成23年4月1日より施行する。ただし、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成24年4月1日より施行する。ただし、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表
学科カリキュラム

■環境数理学科
教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境数理学概論	○								2			2		
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8以上	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	○	○	○	○										
	健やかに生きる	○	○	○	○										
	自然と技術	○	○	○	○										
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○						2以上	4単位まで			
	自然科学	○	○	○	○						2以上	(数理系, 統計学系の科目を除く)			
	生命・保健科	健康・スポーツ科学	○	○	○	○								2単位まで	
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○										1単位まで	
情報科学												卒業要件単位外			
外 国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工1)		○							2	8単位まで			
		英語 (ネイティブ)	○								2				
		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)			○	○								4	
		基礎英語													卒業要件単位外
	4以上	プレ上級英語	○	○	○	○	○	○					8単位まで	28	
		上級英語	○	○	○	○	○	○							
		英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○					
		ドイツ語	ドイツ語初級	○	○										
			ドイツ語中級			○	○								
		フランス語	フランス語初級	○	○										
			フランス語中級			○	○								
		中国語	中国語初級	○	○										
			中国語中級			○	○								
		韓国語	韓国語初級	○	○										
			韓国語中級			○	○								
		ロシア語	ロシア語初級												
			ロシア語中級												
		スペイン語	スペイン語初級												
			スペイン語中級												
		イタリア語	イタリア語初級												
イタリア語中級															
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○							留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる			
教養教育科目 計												30			

(注) 1 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。
2 「個別科目」の「自然科学」の中から、物理、化学を主たる内容とする科目（実験を除く）から必ず2単位以上取得すること。ただし専門基礎科目「現代の物理学」, 「現代の化学」をもってこれに代えることができる。

専門教育科目

科目区分	授業科目	配当年次及び週授業時間数				単位			履修要件	卒業要件単位
		1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択	自由		
専門基礎科目	共通	環境理工学入門	2				2		共通 必修科目2単位	専門基礎 科目及び 専門科目 98単位
		技術者倫理 キャリア形成論	2				2	2		
	基礎科学系科目	線形代数Ⅰ	2				2		基礎科学系 必修科目7単位 選択科目2単位	
		線形代数Ⅱ	2				2			
		線形代数Ⅱ演習	2				1			
		統計学Ⅰ	2				2			
		統計学Ⅱ	2					2		
		現代の物理学	2					2		
		基礎からの力学	2					2		
	現代の化学	2					2			
	環境科学系科目	環境と生物	2					2	環境科学系 選択科目8単位	
		環境生物学		2				2		
		気象と水象	2					2		
		環境と地理		2				2		
		地球と環境	2					2		
循環型社会システム			2				2			
水質学			2				2			
エネルギーとエントロピー			2				2			
環境と物質			2				2			
環境と地盤			2				2			
環境影響評価学			2				2			
基礎地球科学			2				2			
実践型水辺環境学及び演習Ⅰ			2				2			
実践型水辺環境学及び演習Ⅱ		2				2				
ESD学外実習		2					1			
専門科目	微分積分Ⅰ	2				2		必修科目35単位		
	微分積分Ⅰ演習	2				1				
	微分積分Ⅱ	2				2				
	微分積分Ⅱ演習	2				1				
	計算機リテラシ入門	2				2				
	離散数学入門		2			2				
	応用解析学A		2			2				
	ベクトル解析		2			2				
	情報統計学		2			2				
	数理統計学Ⅰ		2			2				
	プログラミング言語		2			2				
	プログラミング言語演習		2			1				
	計算解析		2			2				
	グラフとアルゴリズム		2			2				
	卒業論文					10				
	情報課題研究					10				
	計算機操作入門	2					2		} 1科目選択必修	
	計算機理論入門	2					2			
	線形代数Ⅲ		2				2			
	代数学Ⅰ		2				2			
	代数学Ⅱ			2			2			
	幾何学基礎		2				2			
	幾何学要論			2			2			
	応用解析学B		2				2			
	フーリエ解析と偏微分方程式			2			2			
	確率論			2			2			
	力学系とモデリング			2			2			
	数値シミュレーションⅡ			2			2			
	計算統計学Ⅰ			2			2			
	数値シミュレーションⅠ			2			2			
	計算統計学Ⅱ			2			2			
	数理統計学Ⅱ			2			2			
	計量アナリシスⅠ			2			2			
	環境アナリシス			2			2			
	環境情報モデル学			2			2			
	環境数理生物学			2			2			
	偏微分方程式とその応用			2			2			
	環境統計科学Ⅰ			2			2			
	環境統計科学Ⅱ			2			2			
	応用数理Ⅰ			2			2			
	応用数理Ⅱ			2			2			
	環境数理モデルA			2			2			
	環境数理モデルB			2			2			
	計量アナリシスⅡ			2			2			
	環境統計モデル			2			2			
情報と職業				2			2			
情報数理インターンシップ				2			2			
情報化社会と技術(工学部開講)				2			2			
計算機アーキテクチャⅠ(工学部開講)				2			2			
土壌科学概論		2					2			
植生管理学		2					2			
廃棄物マネジメント			2				2			
景観論Ⅰ			2				2			
数値解析学			2				2			
農村整備学			2				2			
森林環境論			2				2			
環境政策論				2			2			
労働環境工学				2			2			

■環境デザイン工学科
教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境デザイン工学概論	○								2			2		
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	○	○	○	○										
	健やかに生きる	○	○	○	○										
	自然と技術	○	○	○	○										
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○							6単位まで			
	自然科学	○	○	○	○						4	6単位まで			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○							2単位まで		
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○									1単位まで		
	情報科学											卒業要件単位外			
外国 語 科 目	英語	英語 (環境理工 2)		○							2	8単位まで			
		英語 (ネイティブ)	○								2				
		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)			○	○								4	
		基礎英語													卒業要件単位外
		英語特別演習 (1, 2)													卒業要件単位外
		プレ上級英語	○	○	○	○	○	○	○	○					4
	上級英語	○	○	○	○	○	○	○	○						
	ドイツ語	ドイツ語初級	○	○											
		ドイツ語中級			○	○									
	フランス語	フランス語初級	○	○											
		フランス語中級			○	○									
	中国語	中国語初級	○	○											
		中国語中級			○	○									
	韓国語	韓国語初級	○	○											
		韓国語中級			○	○									
	ロシア語	ロシア語初級													
		ロシア語中級													
	スペイン語	スペイン語初級													
		スペイン語中級													
	イタリア語	イタリア語初級													
イタリア語中級															
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○							留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる			
教養教育科目 計												32			

(注) 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

専門教育科目

科目区分	授業科目	配当年次及び週授業時間数				単位			履修要件	卒業要件単位	
		1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択	自由			
専門基礎科目	共通	環境理工学入門	2				2		共通科目 4単位	専門基礎科目 28単位	
		技術者倫理	2				2				
		キャリア形成論		2				2			
		基礎科学系科目	情報処理入門	2					基礎科学系科目 10単位以上		基礎科学系・環境科学系科目24単位 (*「現代の化学」,「基礎地球科学」,「環境生物学」のうち1科目選択必修)
			基礎からの力学	2							
			現代の物理学	2							
			線形代数 I	2				2			
			統計学 I	2				2			
			現代の化学*	2				2			
			線形代数 II	2				2			
			統計学 II	2				2			
		環境科学系科目	水質学		2			2	環境科学系科目 8単位以上		
			基礎地球科学*	2				2			
			環境生物学*		2			2			
			地球と環境	2				2			
			環境と地盤	2				2			
			気象と水象	2				2			
			エネルギーとエントロピー	2				2			
			循環型社会システム		2			2			
		実践型水辺環境学及び演習 I		2			2				
		実践型水辺環境学及び演習 II		2			2				
		環境影響評価学		2			2				
		環境と物質		2			2				
		ESD学外実習		2			1				
専門科目		変形体力学 I 及び演習	4				3		必修科目 37単位	専門科目 69単位	
		測量学		2			2				
		測量学実習		3			1				
		情報処理及び演習		2			3				
		構造材料学		2			2				
		土質力学 I		2			2				
		水理学及び演習		4			3				
		廃棄物マネジメント		2			2				
		土質力学演習				2	1				
		外国書講読				2	2				
		大気環境学				2	2				
		都市・地域計画学		2			2				
		景観論 I				2	2				
		卒業論文※					10				
		[選択科目]A群	2					2			A群の選択科目 4単位以上
		環境解析学		2				2			
		応用解析学A		2				2			
		応用解析学B		2				2			
		数値解析学			2			2			
		環境物理化学			2			2			
		[選択科目]B群						2	B群の選択科目 6単位以上		選択科目B群～F群の5群のうち3群について「履修要件」を満たすこと
		変形体力学 II		2				2			
		振動学 I		2				2			
		振動学 II			2			2			
		コンクリート構造設計学 I			2			2			
		コンクリート構造設計学 II			2			2			
		鋼構造設計学			2			2			
		[選択科目]C群						2	C群の選択科目 4単位以上		
		土質力学 II		2				2			
		地下水環境工学		2				2			
		地盤工学			2			2			
		地盤環境工学			2			2			
		[選択科目]D群						3	D群の選択科目 6単位以上		
		水理設計学及び演習		4				2			
		流域環境学		2				2			
		環境水理学			2			2			
		河川環境学			2			2			
	沿岸環境学			2			2				
	[選択科目]E群						2	E群の選択科目 4単位以上			
	上下水道学			2			2				
	環境微生物学			2			2				
	衛生薬学 II (薬学部開講)			2			2				
	[選択科目]F群	2					2	F群の選択科目 6単位以上			
	計画数理						2				
	交通計画学			2			2				
	景観論 II 及び演習			4			3				
	環境計画学			2			2				
	都市解析学			2			2				
	計画学演習			2			1				
	[選択科目]実験系						1	実験系の選択科目 2単位以上			
	土質試験法及び実験		2				1				
	材料試験法及び実験		2				1				
	水理計測法及び実験			2			1				
	水・環境質計測法及び実験			2			1				
	[選択科目]実習系						1				
	環境デザイン工学インターンシップ						1				

※卒業論文の可否判定は、卒業論文の内容と別途実施する学力試験及び技術者倫理レポートの成績により行う。

■環境管理工学科
教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位	
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件		
ガイダンス科目	環境管理工学概論	○								2			2	
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	○	○	○	○									
	健やかに生きる	○	○	○	○									
	自然と技術	○	○	○	○									
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○							4単位まで		
	自然科学	○	○	○	○						6	8単位まで		
	生命・保健 科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○							2単位まで	
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○									1単位まで	
情報科学												卒業要件単位外		
外国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工3)		○							2	8単位まで		
		英語 (ネイティブ)	○								2			
		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)			○	○								4
		基礎英語												
	ドイツ語	プレ上級英語	○	○	○	○	○	○	○	○		4	8単位まで	
		上級英語	○	○	○	○	○	○	○	○				
		英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○				
		ドイツ語	ドイツ語初級	○	○									
			ドイツ語中級			○	○							
		フランス語	フランス語初級	○	○									
			フランス語中級			○	○							
		中国語	中国語初級	○	○									
			中国語中級			○	○							
		韓国語	韓国語初級	○	○									
			韓国語中級			○	○							
		ロシア語	ロシア語初級											
			ロシア語中級											
		スペイン語	スペイン語初級											
			スペイン語中級											
		イタリア語	イタリア語初級											
イタリア語中級														
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○							留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる		
教養教育科目 計												33		

(注) 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

専門教育科目

科目区分	授業科目	配当年次及び週授業時間数				単位			履修要件	卒業要件単位	
		1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択	自由			
専門基礎科目	共通	環境理工学入門	2				2			共通科目 4単位	専門基礎科目 22単位
		技術者倫理	2				2				
		キャリア形成論		2				2			
	基礎科学系科目	情報処理入門	2				2			基礎科学系科目 8単位	
		物理入門	2				2				
		現代の化学	2				2				
		統計学Ⅰ	2					2			
		統計学Ⅱ		2				2			
		基礎からの力学	2					2			
	環境科学系科目	物質化学入門	2					2		環境科学系科目 10単位	
		環境と生物	2				2				
		気象と水象	2				2				
		環境と地理	2				2				
地球と環境		2					2				
水質学			2				2				
エネルギーとエントロピー		2					2				
環境と物質			2				2				
環境と地盤			2				2				
環境生物学			2				2				
環境影響評価学		2				2					
基礎地球科学	2					2					
循環型社会システム		2				2					
実践型水辺環境学及び演習Ⅰ		2				2					
実践型水辺環境学及び演習Ⅱ		2				2					
専門科目	環境管理数学	2				2			必修科目 58単位	専門科目 74単位	
	環境管理工学演習			2		1					
	分野演習			2		1					
	土壌科学概論	2				2					
	植生管理学	2				2					
	水生動物学			2		2					
	基礎地形情報学		2			2					
	土壌の物質移動学		2			2					
	生産基盤管理学			2		2					
	流体力学入門	2				2					
	流域水文学		2			2					
	水資源利用学			2		2					
	水文環境管理学			2		2					
	構造力学	2				2					
	土質力学		2			2					
	環境施設設計学			2		2					
	地域景観論		2			2					
	土地利用計画学		2			2					
	公共財管理論			2		2					
	地域開発論			2		2					
	農村計画論		2			2					
	農村整備学			2		2					
	基礎地形情報学実習		6			2					
	環境生物学実験				3		1				
	土壌環境実験				3		1				
	水利実験				3		1				
	土質・コンクリート実験				3		1				
	卒業論文					10					
	土壌圏管理学		2				2				2単位以上 選択科目 16単位
	土壌物理学		2				2				
	水理学		2				2				
	地域経済学	2					2				
応用解析学A		2				2					
環境気象学		2				2					
地盤防災工学		2				2					
環境経済学		2				2					
環境情報処理		2				2					
応用解析学B		2				2					
水域環境管理学			2			2					
コンクリート工学			2			2					
環境管理工学実習			6			2					
地形情報管理学				2		2					
森林環境論				2		2					
景観管理学				2		2					
外国書講読				2		2					
地形情報管理学実習				6		2					
土地利用計画学演習				4		2					

■環境物質工学科
教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位	
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件		
ガイダンス科目	環境物質工学概論	○								2			2	
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	○	○	○	○									
	健やかに生きる	○	○	○	○									
	自然と技術	○	○	○	○									
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○							6単位まで		
	自然科学	○	○	○	○						7	7単位まで		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○							2単位まで	
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○									1単位まで	
情報科学												卒業要件単位外		
外国 語 科 目	英語	英語 (環境理工 4)		○							2	8単位まで		
		英語 (ネイティブ)	○								2			
		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)			○	○								4
		基礎英語												
	ドイツ語	プレ上級英語	○	○	○	○	○	○	○	○		4	8単位まで	
		上級英語	○	○	○	○	○	○	○	○				
	フランス語	英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○				
		ドイツ語初級	○	○										
	ドイツ語	ドイツ語中級			○	○								
		フランス語初級	○	○										
	フランス語	フランス語中級			○	○								
		中国語初級	○	○										
	中国語	中国語中級			○	○								
		韓国語初級	○	○										
	韓国語	韓国語中級			○	○								
		ロシア語初級												
	ロシア語	ロシア語中級												
		スペイン語初級												
	スペイン語	スペイン語中級												
		イタリア語初級												
イタリア語	イタリア語中級													
	日本語	○	○	○	○									留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる
教養教育科目 計														35

(注) 1 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。
 2 「個別科目」の「自然科学」の中から、生物、物理、地学のいずれかを主たる内容とする科目（実験を除く）を必ず1科目以上修得すること。ただし、専門基礎科目「現代の物理学」「基礎からの力学」をもってこれに代えることができる。
 また、「教養物理学実験」は、専門科目「環境化学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」の履修に必要なので必ず修得すること。

専門教育科目

科目区分	授業科目	配当年次及び週授業時間数				単 位			履修要件	卒業要件単 位	
		1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択	自由			
専門基礎科目	共通	環境理工学入門	2				2		共通科目 4~6単位	専門基礎科目 24単位	
		技術者倫理	2				2				
		キャリア形成論		2				2			
	基礎科学系科目		プログラミング入門	2				2			基礎科学系必修科目6単位と選択科目8単位以上
			基礎物理化学	2				2			
			物質数理科学		2			2			
			情報処理入門	2					2		
			工学基礎	2					2		
			統計学Ⅰ	2					2		
			統計学Ⅱ	2					2		
			現代の物理学		2				2		
			基礎からの力学	2					2		
		物質化学入門	2					2			
	環境科学系科目		循環型社会システム		2			2			環境科学系選択科目6単位以上
			環境影響評価学		2			2			
			環境と生物		2			2			
			気象と水象	2					2		
			地球と環境	2					2		
			水質学		2				2		
			エネルギーとエントロピー	2					2		
		環境と物質	2					2			
		環境生物学		2				2			
		基礎地球科学	2					2			
		実践型水辺環境学及び演習Ⅰ		2				2			
	実践型水辺環境学及び演習Ⅱ		2				2				
	ESD学外実習		2				1				
専門科目		物理化学A	2				2		必修科目 43単位	専門科目 71単位	
		熱力学		2				2			
		物理化学B		2				2			
		物理化学C		2				2			
		化学結合論Ⅰ	2					2			
		化学結合論Ⅱ		2				2			
		無機化学		2				2			
		有機化学Ⅰ	2					2			
		有機化学Ⅱ		2				2			
		高分子化学Ⅰ			2			2			
		化学工学A		2				2			
		化学工学B		2				2			
		反応工学			2			2			
		外国書講読			2			2			
		環境分析化学実験		6				2			
		環境化学実験Ⅰ			3			1			
		環境化学実験Ⅱ			3			1			
		環境化学実験Ⅲ			3			1			
		卒業論文						10			
		応用解析学A		2				2			3科目選択必修
		応用解析学B		2				2			
		環境分析化学		2				2			
		機器分析			2			2			
		固体化学			2			2	1科目選択必修		
		セラミックス物性化学			2			2			
		無機材料化学			2			2			
		有機化学Ⅲ		2				2	1科目選択必修		
		環境有機化学			2			2			
		高分子化学Ⅱ			2			2			
		分離工学			2			2	1科目選択必修		
	環境触媒化学			2			2				
	化学プロセス工学			2			2				
	化学装置設計				2		2				
	環境政策論			2			2	3科目選択必修			
	労働環境工学			2			2				
	環境物質工学実習			1			1				
	環境物質工学各論Ⅰ				1		1				
	環境物質工学各論Ⅱ				1		1				

2. 環境理工学部成績評価基準

- (1) 各授業科目の成績評価は、担当教員が環境理工学部及び学科の理念・目標に沿った上で、授業科目の特性に応じた到達目標を設定し、その到達目標に対する学生の到達度に基づき行う。到達目標と評価の方法はシラバスに明示する。
- (2) 成績評価は、各科目の特性を踏まえて、授業の形態と内容に対応した適切で多面的な方法により行い、授業及び授業時間外の自己学習を通して得られた学習効果も適切に反映されるように努める。そのことはシラバスに明示する。
- (3) 成績評価の評語

岡山大学では、平成20年度入学生よりGPA制度（GPA：Grade Point Average）を導入している。GPA制度の成績の表し方とGP（GP：Grade Point）の換算は次のとおりである。

なお、平成19年度以前入学生は、従前どおり、優・良・可・不可の評語で評価する。詳細については、入学年度の学生便覧で確認すること。

評語	GP	評点（整数）	基準等
A+	4	90～100点	合格（単位を授与する。）
A	3	80～89点	
B	2	70～79点	
C	1	60～69点	
F	0	0～59点	不合格（単位を授与しない。）
W	対象外	付さない	履修登録において、本学が別に定める履修取消期間内に、履修取消手続きを行った授業科目
認定	対象外	付さない	①入学前の既修得単位及び転学、編入学等の既修得単位について、学部・研究科の判断により、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を授与する場合 ②他の大学等において履修し修得した授業科目の単位又は大学以外の教育施設等における学修について、学部・研究科の判断により、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし単位を授与する場合で、評点により評価しがたい場合
修了	対象外	付さない	本学の開設する授業科目のうち、授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたいもの、若しくは一定の到達度をもって評価し単位を授与する場合
未修得	対象外	付さない	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、不合格（単位を授与しない。）とする場合

< GPAの算出方法 >

履修登録した科目ごとの5段階評価を、4から0までの点数（GP）に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割って算出する。

$$GPA = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

< GPAの対象とならない科目 >

- ・ 評点を示さず、認定または修了によって単位を取得できる科目
- ・ 岡山大学以外で修得した科目を単位として認めたもの
- ・ 各学部によって定められた期間に履修取り消しの手続きを行った科目

< GPA履修登録取消制度 >

履修確定後に、一旦履修登録した科目を取り消したい場合は、GPA履修登録取消期間内に限り取り消すことができるので、教務担当窓口にて手続きを行うこと。

なお、GPA履修登録取消期間内に手続きを怠り、自ら履修を放棄した場合は、F評語（GP=0）となり、GPAの値が低くなり不利益を招くことがあるので注意すること。

また、GPA履修登録取消期間については別途掲示するので注意すること。

3. 岡山大学環境理工学部における卒業論文の認定基準

- (1) 卒業論文提出者は、社会に生かすうる専門性を身につけ、問題設定・解決に向けた研究および技術開発に取り組むための基盤となる学識を有していること。
- (2) 卒業論文は、信頼性の十分なデータと誠実な考察に基づいて、明快かつ論理的に書かれていること。
- (3) 卒業論文は、十分な内容と価値ある成果を含んでいること。
- (4) 卒業論文の内容は、主体的な学習によって得られたものであること。

4. 試験について

- (1) 試験科目、日時及びその他必要事項は、掲示または授業担当教員によって指示する。
- (2) 病気その他やむを得ない理由で受験できなかった場合は、授業担当教員の判断によって追試験を受けられることがある。
- (3) 試験における不正行為等の取扱いについて
不正行為または不正行為と疑われる行為は断じて行わないこと。万が一、不正行為または不正行為と疑われる行為を行った場合の取扱いは次のとおりである。
また、受験にあたっては、次に示す「受験心得」の各事項に留意すること。そのほか授業担当教員（監督者）の指示がある場合には、その指示に従うこと。

試験における不正行為等の取扱い

- ①不正行為が判明した場合、退学又は停学の懲戒処分とする。
(退学)
 - 一 代理（替玉）受験をしたり、させた場合
 - 二 その他特に悪質な不正行為をした場合(停学)
 - 一 許可されていないノート及び参考書等を参照した場合
 - 二 答案を交換した場合
 - 三 その他不正行為を行った場合
- ②不正行為が判明した場合、当該学生の所属する学部長は、当該学生に対し直ちに謹慎を命ずる。
- ③不正行為が行われた試験及びその期における以後の試験は、当該学生に対し無効とする。
- ④共謀の不正行為にあつては、依頼者及び被依頼者とも原則として同一の処分とする。
- ⑤停学期間は、3月を超えるものとし、始期は不正行為のあった日の翌日とする。
- ⑥不正行為を行おうとした場合及び試験場において監督者の注意又は指示に従わない者には、退場を命じ、その試験を無効とする。

受験心得

- 受験（中間試験等を含む）にあたっては、次の各事項に留意してください。
- ① 受験する学生は特別の指示がない限り、試験時間開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
 - ② 監督者が指定した座席において受験すること。
 - ③ 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
 - ④ 受験中、机の上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。携帯電話・PHS等は、必ず電源を切って入れること。
 - ⑤ 解答用紙には、所属学部名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
 - ⑥ 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
 - ⑦ 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
 - ⑧ 答案用紙には、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。
自己の机の上に置いて退出すると無効になる。
 - ⑨ 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。
なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条により厳重な懲戒処分を行う。

5. 履修上の注意

授業科目は、教養教育科目と専門教育科目に分かれており、各学科の授業科目、単位数及び履修方法等は、「岡山大学環境理工学部履修細則」のとおりである。教養教育科目履修の手引き・授業時間表、環境理工学部時間割表、学生便覧及びシラバス等に基づき履修計画を立て、前期及び後期それぞれの学期ごとに定められた期間内に、履修手続を行うこと。

6. 授業科目の履修登録について

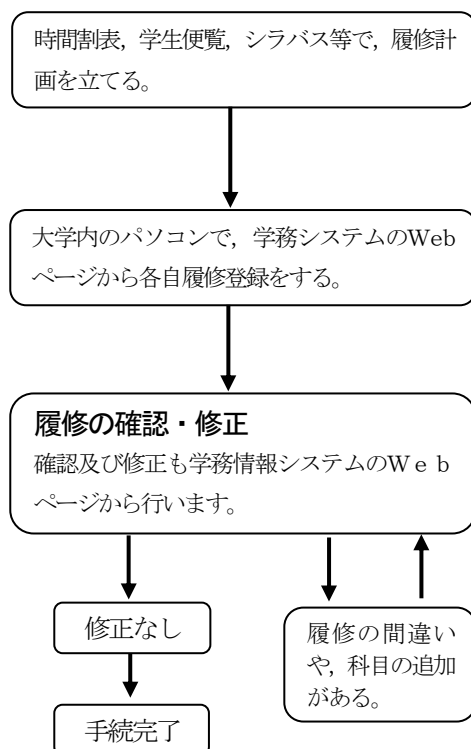
履修登録は、大学内に設置されているパソコンから、学務システムのWebページ（インターネット）により行う。入学時に配布された学務システムの利用に必要なパスワード等は、忘れたり紛失したりしないように注意すること。

【学務システムURL】 <http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/gakunai/gakumu0.html>

※「岡山大学HP」→「在学生・保護者の方」→「システムの利用方法」→「各システムへの入り口」→

「学務システム利用方法」→「インターネット（Web）を使う処理」→「入口はこちら」からもアクセス可能

【履修手続の流れ】



履修手続期間：

前期（4月中旬～下旬），後期（10月上旬～中旬）

（履修手続の日程は別途掲示するので注意すること）

〈注意〉

履修登録当日は、履修エラー（間違い）が画面に表示されません。

翌日以降に必ず画面を見て履修エラーの有無を確認すること。

なお、履修エラーは、必ず履修手続期間内に修正すること。

原則として、確認をしなかったことによる履修漏れや間違い等があっても、履修科目の追加・変更はできないので注意すること。

7. 教養教育科目の履修登録上限制について

環境理工学部では、教養教育科目における履修登録上限制を実施している。教養教育科目の履修登録単位数が前期・後期を合算して**26単位以下**になるように履修計画を立てること。（この26単位には、取得できなかった単位数も含まれるので注意すること。）

8. 他学部の授業科目の履修について

(1) 教職に関する科目

教育職員免許状取得のための教育学部の授業科目（教職に関する科目）を履修する場合は、教育学部の講義番号で登録すること。

(2) 他学部開設の授業科目

他学部開設の授業科目の履修を希望する場合は、授業担当教員及び所属学科の承認を得て履修登録を行うこと。授業科目によっては卒業要件として認められないものがあるので注意すること。

9. 外部検定試験等による単位認定について

外部検定試験等の成績により、教養教育科目の外国語科目の単位認定を行っている。9月認定の申請は7月頃、3月認定の申請は1月頃受け付けるので、掲示に注意すること。

<外部検定試験における単位認定基準（平成24年度以降入学者用）>

科 目	認定の対象とする外部検定試験等	合格基準	認定する授業科目・単位数	
英 語	【英語関係Ⅰ】 Test of English for International Communication (TOEIC・IPを含む)	500～645点 (OT3) 650～795点 (OT2)	別表の③から⑥の中より選択 2単位 別表の③から⑥の中より選択 4単位	
	実用英語技能検定 (英 検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	準 1 級 B 級 500点以上 173点以上 61点以上	別表の①から⑥の中より選択 4単位	
	【英語関係Ⅱ】 Test of English for International Communication (TOEIC・IPを含む)	800点以上 (OT1)		英語 (ネイティブ) 2単位 及び 別表の③から⑥の中より選択 4単位
	実用英語技能検定 (英 検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	1 級 A 級 550点以上 213点以上 79点以上	別表の①から⑥の中より選択 8単位	
	ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験 (独検)		5 級
			4 級	ドイツ語初級Ⅰ (文法) ドイツ語初級Ⅰ (読本) ドイツ語初級Ⅱ (文法) ドイツ語初級Ⅱ (読本) ドイツ語初級Ⅰ (総合) } 4単位
3 級 以 上			ドイツ語初級Ⅰ (文法) ドイツ語初級Ⅰ (読本) ドイツ語初級Ⅱ (文法) ドイツ語初級Ⅱ (読本) ドイツ語初級Ⅰ (総合) ドイツ語初級Ⅱ (総合) ドイツ語中級 } 8単位	
フ ラ ンス 語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	5 級	フランス語初級Ⅰ (文法) 又は 2単位 フランス語初級Ⅰ (読本)	
		4 級	フランス語初級Ⅰ (文法) フランス語初級Ⅰ (読本) フランス語初級Ⅱ (文法) フランス語初級Ⅱ (読本) フランス語初級Ⅰ (総合) } 4単位	
		3 級 以 上	フランス語初級Ⅰ (文法) フランス語初級Ⅰ (読本) フランス語初級Ⅱ (文法) フランス語初級Ⅱ (読本) フランス語初級Ⅰ (総合) フランス語初級Ⅱ (総合) フランス語中級 } 8単位	

科 目	認定の対象とする外部検定試験等	合 格 基 準	認定する授業科目・単位数
中 国 語	漢語水平考試 (筆記試験のみ)	1 級	中国語初級Ⅰ (文法) 又は 中国語初級Ⅰ (読本) 2単位
		2 級	中国語初級Ⅰ (文法) 中国語初級Ⅰ (読本) 中国語初級Ⅱ (文法) 中国語初級Ⅱ (読本) } 4単位
		3 級 以 上	中国語初級Ⅰ (文法) 中国語初級Ⅰ (読本) 中国語初級Ⅱ (文法) 中国語初級Ⅱ (読本) 中国語中級 } 8単位
韓 国 語	韓国語能力試験	1 級	韓国語初級Ⅰ (文法) 韓国語初級Ⅰ (読本) 韓国語初級Ⅱ (文法) 韓国語初級Ⅱ (読本) 韓国語初級Ⅰ (総合) } 4単位
		2 級 以 上	韓国語初級Ⅰ (文法) 韓国語初級Ⅰ (読本) 韓国語初級Ⅱ (文法) 韓国語初級Ⅱ (読本) 韓国語初級Ⅰ (総合) 韓国語初級Ⅱ (総合) 韓国語中級 } 8単位
イ タ リ ア 語	実用イタリア語検定	5 級	イタリア語初級Ⅰ (文法) 又は イタリア語初級Ⅰ (読本) 2単位
		4 級	イタリア語初級Ⅰ (文法) イタリア語初級Ⅰ (読本) イタリア語初級Ⅱ (文法) イタリア語初級Ⅱ (読本) } 4単位
		3 級 以 上	イタリア語初級Ⅰ (文法) イタリア語初級Ⅰ (読本) イタリア語初級Ⅱ (文法) イタリア語初級Ⅱ (読本) イタリア語中級 } 8単位
ス ペ イ ン 語	スペイン語技能検定	6 級	スペイン語初級Ⅰ (文法) 又は スペイン語初級Ⅰ (読本) 2単位
		5 級	スペイン語初級Ⅰ (文法) スペイン語初級Ⅰ (読本) スペイン語初級Ⅱ (文法) スペイン語初級Ⅱ (読本) } 4単位
		4 級 以 上	スペイン語初級Ⅰ (文法) スペイン語初級Ⅰ (読本) スペイン語初級Ⅱ (文法) スペイン語初級Ⅱ (読本) スペイン語中級 } 8単位

備考 1 成績の取扱いは「認定」とする。

2 外部検定試験等による単位認定は、一外国語につき8単位を限度とする。

3 英語に関しては、【英語関係Ⅰ】と【英語関係Ⅱ】は重複して単位認定の対象とする。

4 外部検定試験等による単位認定は、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、一つの授業科目について1回限りとする。

5 平成23年度以前入学者に関しては、入学年度の学生便覧で認定基準を確認すること。

<別 表>

項 番	授 業 科 目 名
①	英語 (環境理工1・2・3・4)
②	英語 (ネイティブ)
③	英語 (オラコン)
④	英語 (作文・文法)
⑤	英語 (読解)
⑥	英語 (検定)

10. 平成23年度以前入学生の履修について

カリキュラムの変更により、平成23年度以前入学生は、授業科目の名称等が変更している場合があるので、入学年度の学生便覧を参考に、各学科の指導に従って履修すること。

(1) 教養教育科目

教養教育科目の科目区分が平成14年度、平成18年度、平成19年度及び平成20年度に変更しているため、入学年度に対応する「教養教育科目履修の手引き」を参考に履修すること。

(2) 専門基礎科目

①平成18年度以前入学生が「キャリア形成論」を履修した場合の取扱い

学 科	取扱い
環 境 数 理 学 科	専門科目・自由科目
環境デザイン工学科	専門基礎科目・学部共通科目・選択科目
環 境 管 理 工 学 科	専門基礎科目・学部共通科目・選択科目
環 境 物 質 工 学 科	専門基礎科目・学部共通科目・選択科目

②平成19年度以前入学生が「実践型水辺環境学」、「実践型水辺環境学Ⅰ」及び「実践型水辺環境学Ⅱ」を履修した場合の取扱い

学 科	平成20年度開講分	平成21年度以降開講分
	実践型水辺環境学	実践型水辺環境学Ⅰ 実践型水辺環境学Ⅱ
環 境 数 理 学 科	専門基礎科目・環境科学系科目・選択科目	
環境デザイン工学科		
環 境 管 理 工 学 科		
環 境 物 質 工 学 科		

③平成22年度以前入学生が「ESD学外実習」を履修した場合の取扱い

学 科	平成21年度開講分	平成22年度開講分	平成23年度以降開講分
環 境 数 理 学 科	卒業要件外	専門科目・自由科目	専門科目・自由科目
環境デザイン工学科	計画学演習	計画学演習	専門科目・選択
環 境 管 理 工 学 科	卒業要件外	卒業要件外	卒業要件外
環 境 物 質 工 学 科	卒業要件外	環境物質工学実習	環境物質工学実習

④入学年度により科目区分が異なる授業科目

授業科目名	平成18年度以前入学生	平成19年度入学生	平成20年度以降入学者
微 分 積 分 Ⅰ	専門基礎科目 基礎科学系科目	専門基礎科目 基礎科学系科目	環境数理学科 専門科目
微 分 積 分 Ⅰ 演 習			
微 分 積 分 Ⅱ			
微 分 積 分 Ⅱ 演 習			
情 報 処 理 (C 言 語)			環境デザイン工学科 専門科目
情報処理 (Fortran 言語)			

(3) 専門科目

以降に記載する各学科の専門科目開講一覧及び授業科目開講期一覧を参考に履修すること。